

事業計画書

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

一般財団法人 尾崎行雄記念財団

1)月刊『世界と議会』の刊行(No.582～585)

尾崎行雄、議会政治、世界情勢に関する記事・論文・講演録等を掲載。また、尾崎行雄の理念の普及に努める個人・団体の取り組みなども広く紹介。(春号・夏号・秋冬合併号)

2)「号堂塾」の開催(第21期)

助成(予定):(公財)原田積善会 協賛(予定):(株)ニフコ

期間:2019年5月～2020年2月(10ヶ月間:16回講義)

引き続き、被災地支援活動の一環として、被災地受講生への講義無料公開を実施。

3)「講演会」の開催

一般及び会員を対象とした講演会(他団体との共催含む)を年5回～6回開催。その他、都内及び地方での出張講演数回予定。テーマは主に、尾崎行雄と立憲主義・民主主義、日本の議会・政党・選挙、また、世界情勢ならびに日本の外交・安全保障・国際交流問題等を予定。

4)「政経懇話会」の開催

国会議員や専門家などを招いて数回開催。対象は特別会員及び一般。テーマは、政治・外交・安全保障などを予定。講義後は、参加者同士の交流を深める懇親会を実施。

5)記念イベントの開催

①「高村正彦・当財団理事長と語る会」 ※8月2日(金)18:00～19:50

高村理事長就任1周年を記念し、改めて財団設立60年の歴史を振り返るとともに、外交・安保・憲法など日本の重要課題に関する高村理事長の講演を行う。また、財団会員・号堂塾生・支援者・関連団体相互の交流を図る(立食懇親会)。

※ただし、衆院解散が行われた場合、その期日によっては日程変更の可能性がある。

②「尾崎行雄没後65年の集い(仮称)」(講演・表彰・懇親会など予定)を10月～12月開催。

6)SNSによる研究公開、広報活動の強化(ホームページ及びフェイスブック等)

尾崎行雄、議会、憲政史などに関する論文等の収集・分析・再整理等を行い、ホームページでの閲覧環境を整備し、情報発信に努める。当財団からの告知等もSNSで積極的に行う。

7)尾崎や議会政治に関する資料の収集／憲政記念館及び関連団体との連携・協力

憲政記念館への企画・展示に協力するとともに、史資料に関する情報を共有する。また、当財団と趣旨を同じくする団体(伊勢のNPO号堂香風や、NPO一冊の会等)と引き続き連携する。

8)財源については、各事業におけるファンドレイズの可能性を探るとともに、財団への寄付依頼及び賛助会員入会依頼などを積極的に行う。

9)会議の開催

定款に則った理事会および評議員会、また必要に応じて随時会議を開催する。